

中小企業大学校関西校と京都大学経営管理大学院とが初連携！ 中小企業のための「財務分析＆中期 5 か年計画策定講座」を新規開講

中小機構（独立行政法人中小企業基盤整備機構）が運営する中小企業大学校関西校では、京都大学経営管理大学院の協力のもと、新たな実践型研修「自社データ活用で理解が深まる財務分析＆中期 5 か年計画策定講座」を 2025 年 11 月 19 日（水曜）及び 12 月 9 日（火曜）の 2 日間開講します。

本講座は、中小企業の経営者や経営幹部の方々が自社の財務データを最大限に活用し、現状分析から中期経営計画の策定までを実践的に学ぶ内容となっています。1 日目は「過去会計」をテーマに、財務諸表の基礎、財務分析、損益分岐点や資金構造の理解を深め、現状把握と課題抽出を行います。2 日目は「未来会計」として、定性的なビジョンの作成から、5 か年損益計画、貸借計画、資金繰り計画までを策定し、持続可能な経営戦略を具体化します。

本講座を通じて、過去と未来の両面から、経営に会計を活かす実践的なスキルを習得します。これにより、経営判断の質を高め、変化の激しい経営環境をしなやかに乗り越える実践力を養います。

【講座概要】

講 座 名：自社データ活用で理解が深まる財務分析＆中期 5 か年計画策定講座

開催日程：2025 年 11 月 19 日（水曜）、12 月 9 日（火曜）＜全 2 日間＞

会 場：中小企業大学校関西校

（大阪府中央区安土町 2 丁目 3 番 13 号 大阪国際ビルディング）

対 象：中小企業の経営者・経営幹部

主 催：独立行政法人中小企業基盤整備機構 中小企業大学校関西校

協 力：京都大学経営管理大学院

受 講 料：22,000 円（税込）

申込方法：下記ページからお申込みください

<https://www.smrj.go.jp/institute/kansai/training/sme/2025/KA256400.html>

＜独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）＞

中小機構は、事業の自律的発展や継続を目指す中小・小規模事業者・スタートアップのイノベーションや地域経済の活性化を促進し、我が国経済の発展に貢献することを目的とする政策実施機関です。経営環境の変化に対応し持続的成長を目指す中小企業等の経営課題の解決に向け、直接的な伴走型支援、人材の育成、共済制度の運営、資金面での各種支援やビジネスチャンスの提供を行うとともに、関係する中小企業支援機関の支援力の向上に協力します。

＜中小企業大学校＞

中小機構が運営する中小企業大学校は、全国に 9 つある研修施設のほかに、中小機構各地域本部にキャンパスを開設しています。

＜本件に関する問い合わせ先＞

独立行政法人中小企業基盤整備機構 近畿本部人材支援課（担当者：宮城、相川）

住所：大阪府大阪市中央区安土町 2 丁目 3 番 13 号 大阪国際ビルディング 27 階

電話：06-6264-8618

～座学だけではない実践型財務研修～

自社データ活用で理解が深まる財務分析 & 中期5か年計画策定講座

研修のねらい

企業の財務データを最大限に活用し、未来を切り拓くための研修です。1日目は「過去会計」にフォーカスし、財務データの精緻な分析を通じて現状を的確に把握し、課題解決のための戦略を練り上げます。

2日目は「未来会計」にシフトし、中期5か年計画を策定、ビジョンを具体的な戦略プランに昇華させます。この研修を通じて、経営判断の質を飛躍的に向上させ、持続可能な成長を実現するための強力なスキルと知識を学びます。

研修のポイント

- ✓ 過去会計を学ぶことで財務データを分析し、現状を正確に把握するためのスキルを習得できます。
- ✓ 未来会計を学ぶことで中期5か年計画を立案し、戦略を明確化するためのスキルを習得できます。
- ✓ 実践的なアプローチにより、自社データ活用で実務スキルを習得できます。

研修期間

2025 年
11/19^水・12/9^火
(2日間、12時間)

対象者

経営者・経営幹部

- ・ 経営に会計情報を活用したいと考えている方
- ・ 管理会計の基本を学びたい方

定員 20 名

受講料 22,000 円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13

大阪国際ビルディング

月 日	時間	科目	内容
11/19 ^水	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-12:40	【基礎編】 ①財務諸表 ②財務分析	①会計の基礎を再認識し、 ②分析力と判断力を身に付け、 ③正しい限界利益の把握と、 ④資金の流れを読み解き、 ⑤未来の経営に活かす。
	13:40-16:40	【応用編】 ③損益分岐点 ④資金構造 ⑤経営計画	この①～⑤のステップを体系的に学習し財務会計を経営の味方につけるためのスキルを身に付けることを目的とします。

インターバル課題 過去3期分の財務データを入力

12/9 ^火	9:30-12:30	【実践編：定性】 定性分析 ビジョン作成 売上項目分析	自社データ(過去3期分)を活用して将来の中期5か年計画を策定します。定量的な数値計画だけではなく、自社分析やビジョンの作成など、定性的な内容にも踏み込むことで、より実践的な研修内容となっています。通常の座学とは違ったリアルなシミュレーションを体感できます。
	13:30-16:30	【実践編：定量】 5か年損益計画 5か年貸借計画 5か年資金繰り計画	
	16:30-16:40	修了証書交付	

※事務連絡等を含んだ時間：12時間20分

(特記事項) ・PC(OSはwindowsのみ)をご持参ください。※事前にソフトウェアをダウンロードしていただく必要があります。

講師紹介(敬称略)

税理士法人日本経営
トータルソリューション事業部 副部長

志村 元隆(しむらはるか)

京都大学にてEMBAプログラムを履修。西日本を中心に、これまで零細企業から中堅企業まで100社以上の多様な業種の中小企業支援に携わる。財務会計・管理会計の支援、補助金計画策定はもちろんのこと、企業の根幹となる中期経営計画の策定を数多く手掛けてきた。近年はクラウド経営支援ツール「bixid」も積極的に活用し、データに基づいた実践的な経営助言(MAS業務)を展開。「顧客の持続発展を支援する」を信条に、クライアントに寄り添い続ける姿勢が厚い信頼を得ている。今回の『自社データ活用で理解が深まる財務分析&中期5か年計画策定講座』では、豊富な支援実績に基づき、自社のリアルな数値を読み解き、明日からの経営に活かすための財務分析、そして未来を切り拓く中期5か年計画の策定手法を分かりやすく解説する。

受講対象者

受講対象者は右記の表に掲げる範囲の中小企業および個人の経営者、管理者、従業員、後継者の方々です。
企業の資本金または従業員数のいずれかが右記の範囲内であれば受講できます※。

※多くの研修には、自社の課題を分析する科目（演習）があり、受講者はその課題を持参頂くことが受講要件となりますが、ご対応頂けない場合などには、受講をご遠慮頂くことがありますので、あらかじめご了承ください。

業 種	資本金	従業員数
製造業・運輸業・ 建設業・ソフトウェア業・ 情報処理サービス業ほか	3億円以下	300人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
小売業	5千万円以下	50人以下
サービス業	5千万円以下	100人以下

受講申込みの流れ

1 HPから申込み

中小企業大学校関西校ホームページの
各研修ページよりお申込みください。

<https://www.smrj.go.jp/institute/kansai/>

関西校



2 確認メール

申込みが完了しますと、「事務連絡先担当者」のメールアドレスに、確認メールが送信されます。

3 受講決定通知書送付

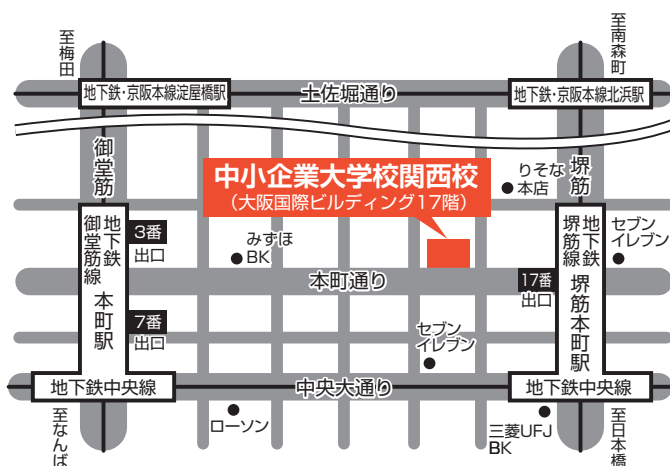
開講のおおむね1か月前に「受講決定通知書」が送付されます。
受講料のお振込みのご案内、カリキュラム等が同封されます。

4 受講料振込

所定の期日までに受講料をお振込みください。

5 ご受講

研修開始時間までに会場にお越しください。



アクセス

大阪市中央区安土町2丁目3-13
大阪国際ビルディング17階

Osaka Metro (大阪メトロ)

- 堺筋線・中央線「堺筋本町」駅から
徒歩2分（17番出口）
- 御堂筋線・中央線「本町」駅から
徒歩5分（3番・7番出口）

